
令和8年度 第1回ものづくり部会 アンケート調査結果

- 調査目的 本調査は、地元会員事業所の問題点、課題点を把握し皆様の声を基にどのような支援が可能なのかを4部会で意見集約し竹原市へ要望書を提出することを目的としています。
- 調査対象 ものづくり部会（155事業所） 【令和8年7月10日（金）現在】
- 調査方法 F A Xによる配布・Q Rコードによる入力
- 調査期間 令和8年6月9日（火）～7月10日（金）
- 回収状況 有効回収数 72事業所 有効回収率 45%

〔調査項目〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査

《行政に対しての提言・要望について》

■調査項目

Q1 基本情報

①企業形態、②主な業種、③従業員数

Q2 経営状況・事業環境

①売上推移、②今後の見通し、③現在の主な経営課題

Q3 生成A I の利用状況と利用ツールについて

①生成A I の利用について、②利用の形態（契約・導入の主体）

Q4 バックオフィスツールの利用状況について

①バックオフィスシステム（ソフト）の利用状況

Q5 人材確保・雇用環境について

①現在の人手不足の状況、②採用手段、③採用における課題、④賃金に関する状況と課題

Q6 若者・女性が働きやすい職場環境づくりについて

①若者・女性の雇用・定着における課題、②行政に期待する若者・女性就労支援

〔調査項目〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査

■調査項目

Q7 今後の事業展開・支援ニーズ

①今後注力したい自社の取り組みについて、②必要と感じる支援

Q8 竹原市または県・国に対して意見、要望等について（自由記述）

合計8件

《中東情勢の影響について（付帯アンケート）》

■調査項目

Q9 貴社の中東情勢に関する影響について

①現在の影響と具体的な内容、②今後の影響見通し、③行政・国に求める支援

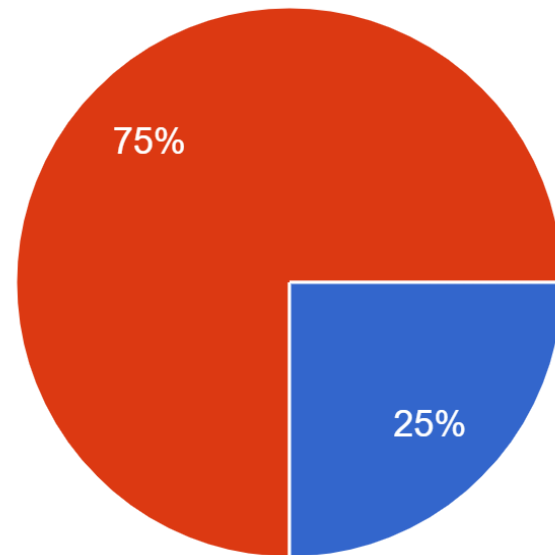
Q10 その他意見があればご記入をお願いします。（自由記述）

合計2件

〔Q1〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆ 1. 基本情報 (1-1) 企業形態

72 件の回答

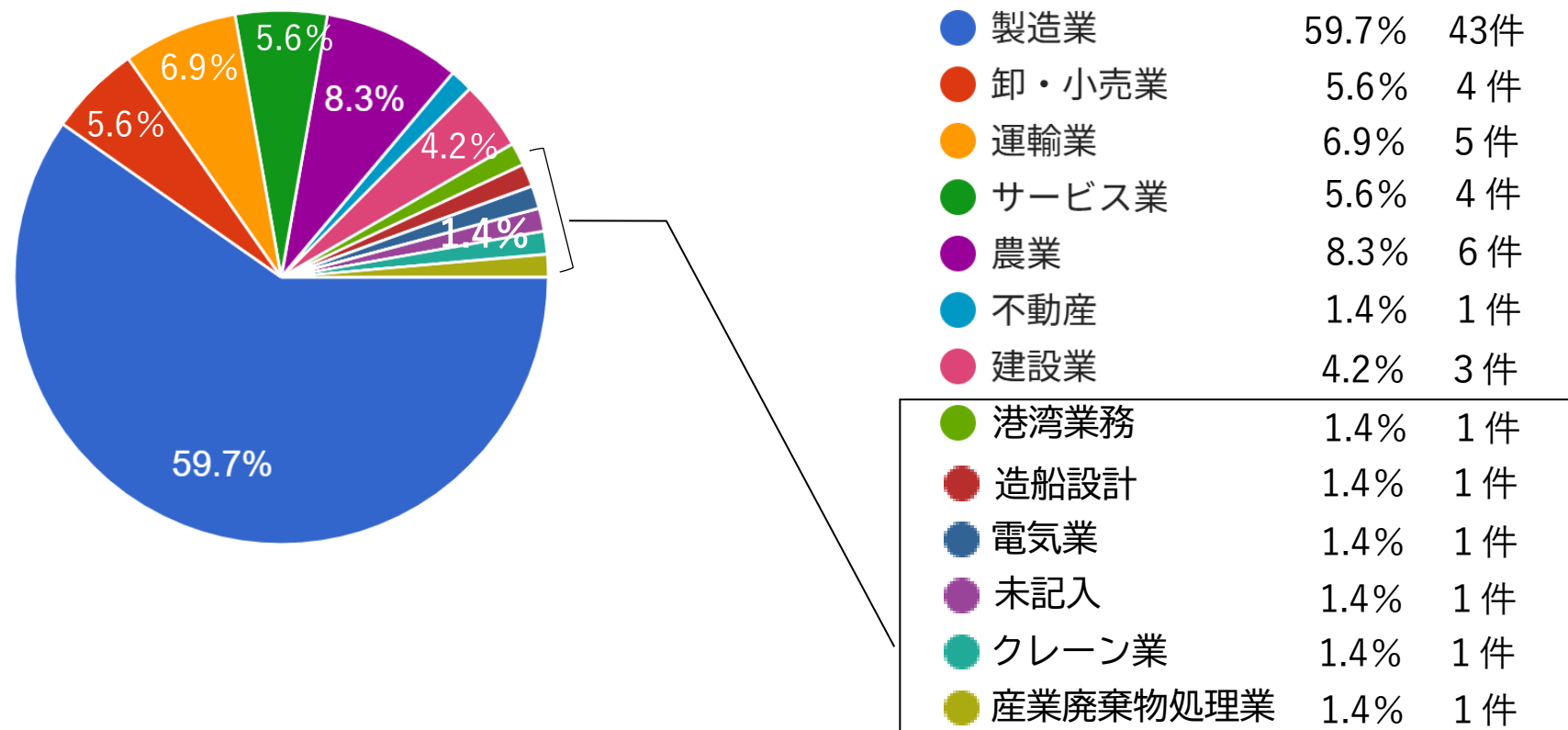


- 個人事業主 18件
- 法人（株式／有限／合資） 54件
- その他 0件

〔Q1〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆ 1. 基本情報 (1-2) 主な業種

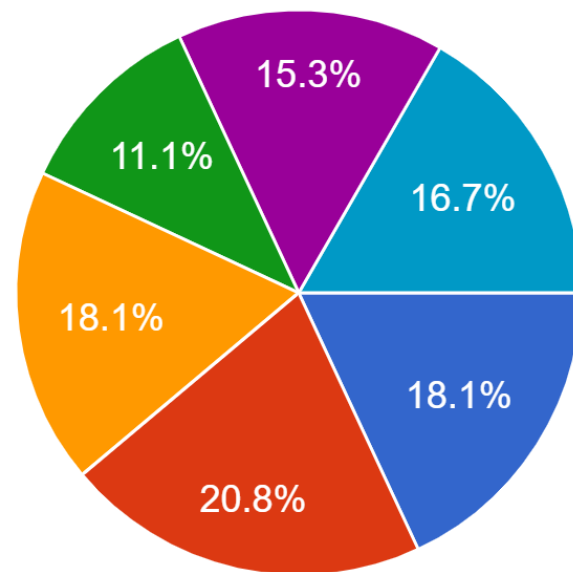
72 件の回答



〔Q1〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆ 1.基本情報 (1-3) 従業員数

72 件の回答

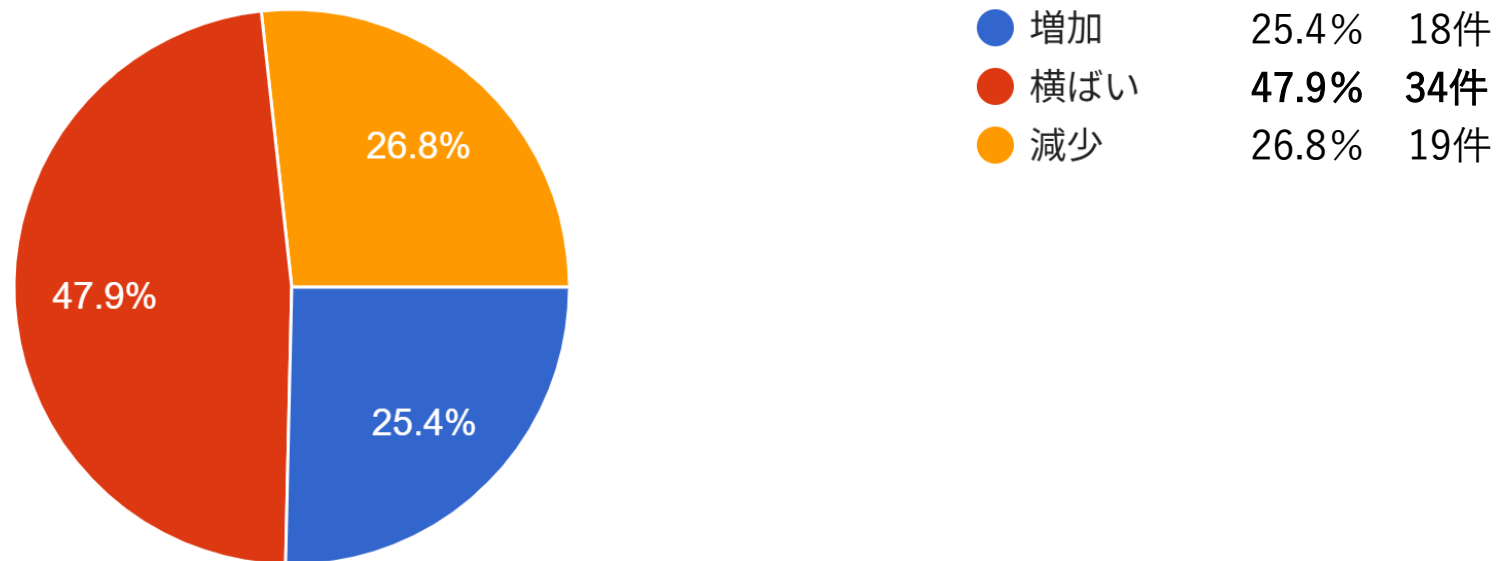


0名	18.1%	13件
1～4名	<u>20.8%</u>	<u>15件</u>
5～9名	18.1%	13件
10～19名	11.1%	8件
20～49名	15.3%	11件
50名以上	16.7%	12件

〔Q2〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆ 2.経営状況・事業環境 (2-1) 売上推移

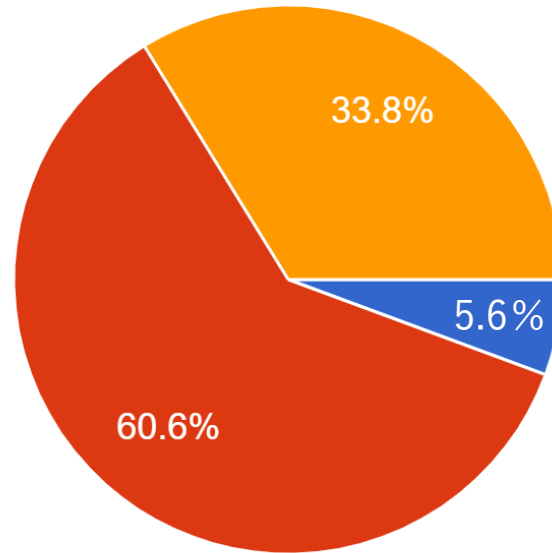
71件の回答



〔Q2〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆2.経営状況・事業環境 (2-2) 今後の見通しについて

71件の回答



- 好転する 5.6% 4件
- 変わらない **60.6% 43件**
- 悪化する：悪化するに☑された場合は、
(2-2-A) へ要因をご記入下さい。 33.8% 24件

〔Q2〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆2. 経営状況・事業環境 (2-2-A) 悪化する要因について

《意見内容》

- ①原材料・資材価格エネルギー価格の高騰円安 ②為替変動の影響 ③供給不足
- ④中東情勢等による資材調達リスク ⑤人件費・保険料上昇によるコスト増加
- ⑥市場縮小や景気低迷による需要減少 ⑦先行き不透明な経営環境
- ⑧事業継続に影響を及ぼす健康面の問題

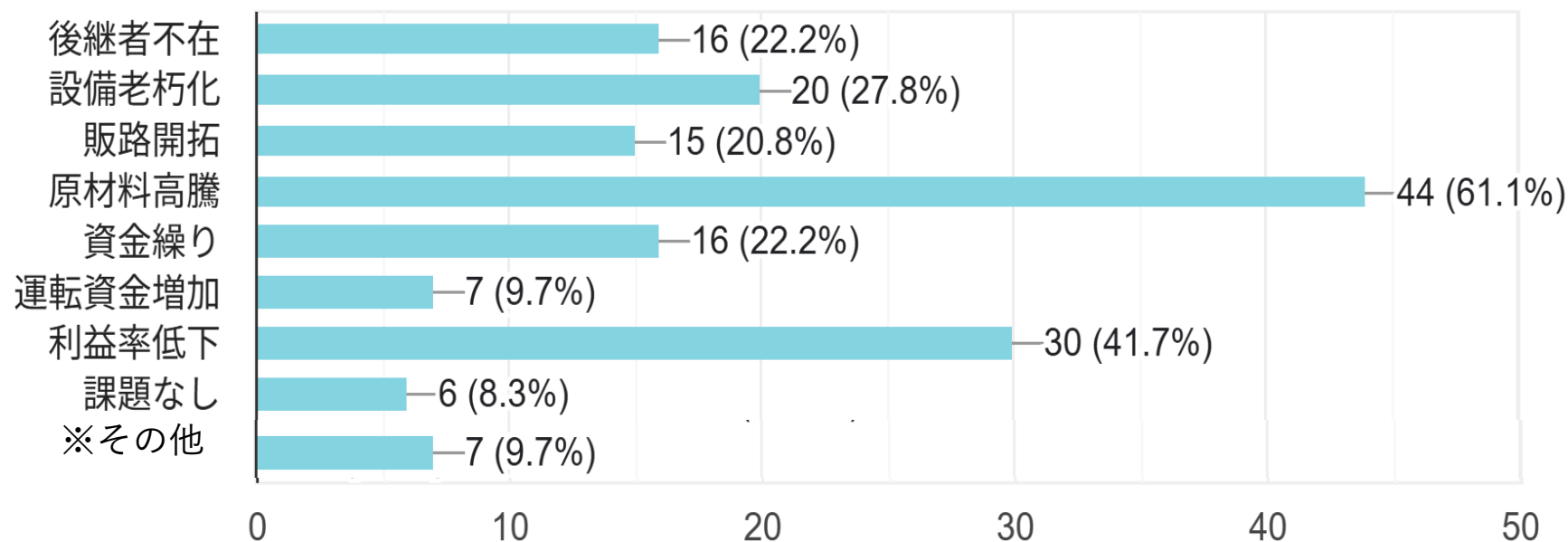
《総括》

物価・資材価格の高騰を中心としたコスト増加に加え、為替や国際情勢による調達リスク、市場縮小による需要低迷が、経営環境悪化の主な要因として挙げられた。特にコスト上昇分を価格転嫁しにくい状況への懸念が強くみられる。

〔Q2〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆2.経営状況・事業環境（2-3）現在の主な経営課題

72件の回答

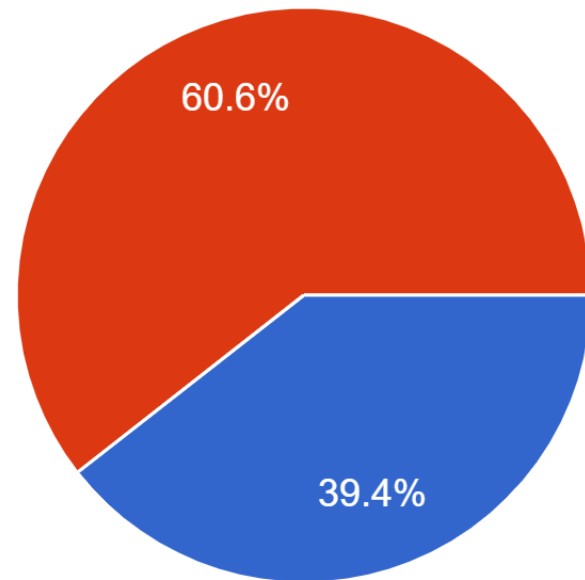


※その他： 人材不足、人材育成、人件費増加、取引先減少、自身の高齢等

〔Q3〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆ 3.生成AIの利用状況 (3-1) 生成AIのご利用について

71 件の回答

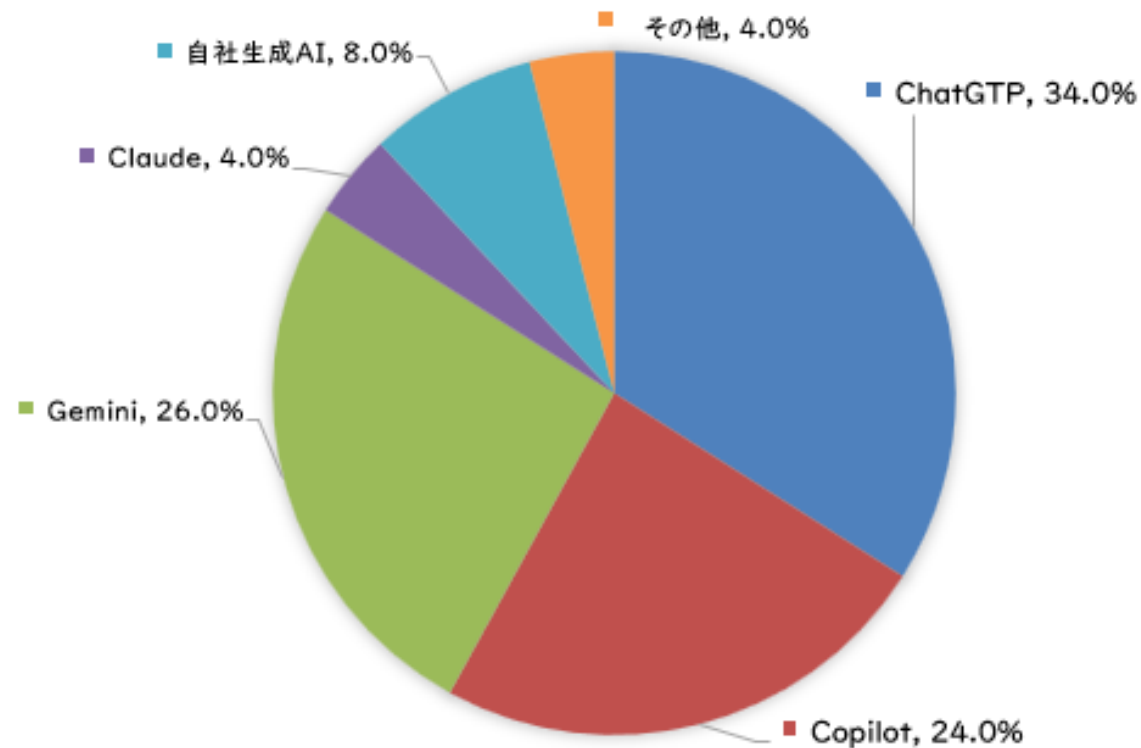


- 利用している : 「利用している」に☑された場合は、(3-1-A) へお進み下さい。
- 利用していない : 「利用していない」に☑された場合は、(3-1-B) へお進み下さい。

〔Q3〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆3.生成AIの利用状況（3-1-A）

50件の回答



〈結果〉

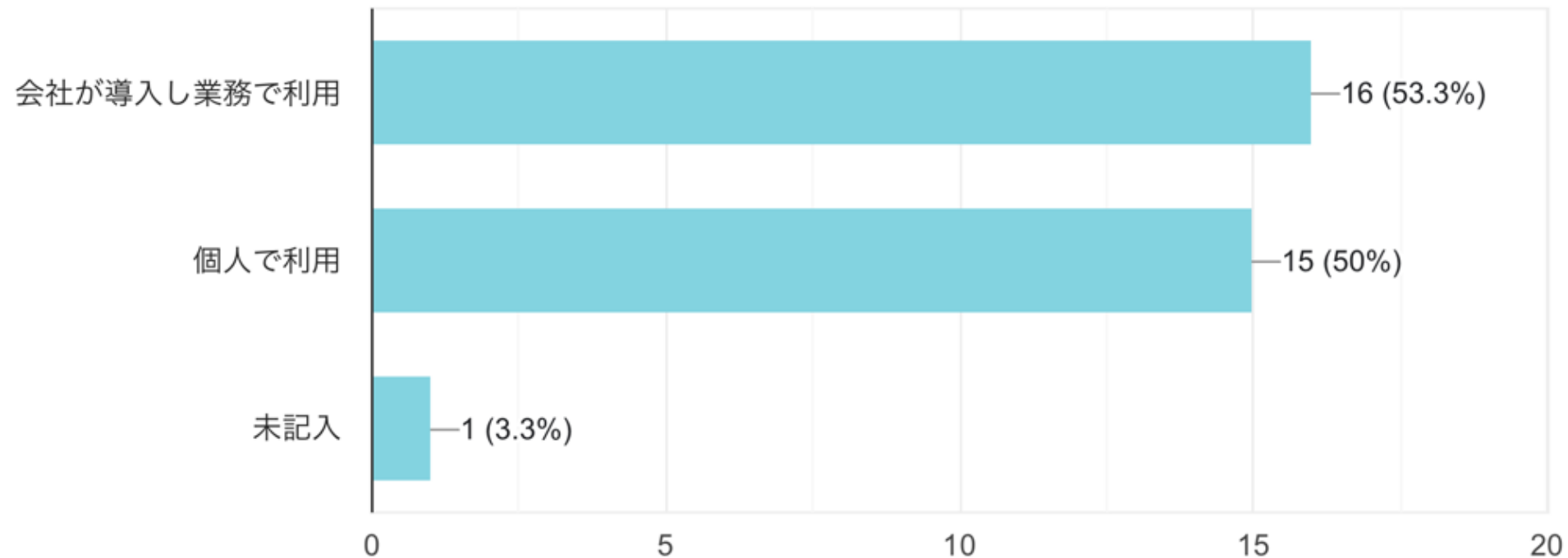
利用者の大半が主要3サービスに集中していることから、生成AIは試験的な導入段階から実務活用段階へ移行しつつあると考えられる。

一方で、自社生成AIを利用する企業も8%存在しており、情報管理や専門業務への活用を目的として、独自のAI環境を整備する企業も一部で見受けられた。全体として、会員企業における生成AIの活用は特定の主要サービスに集約されつつあるものの、企業規模や業務内容に応じて多様な活用が進んでいる

〔Q3〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆3.生成AIの利用状況 (3-2) ご利用の形態 (契約・導入の主体)

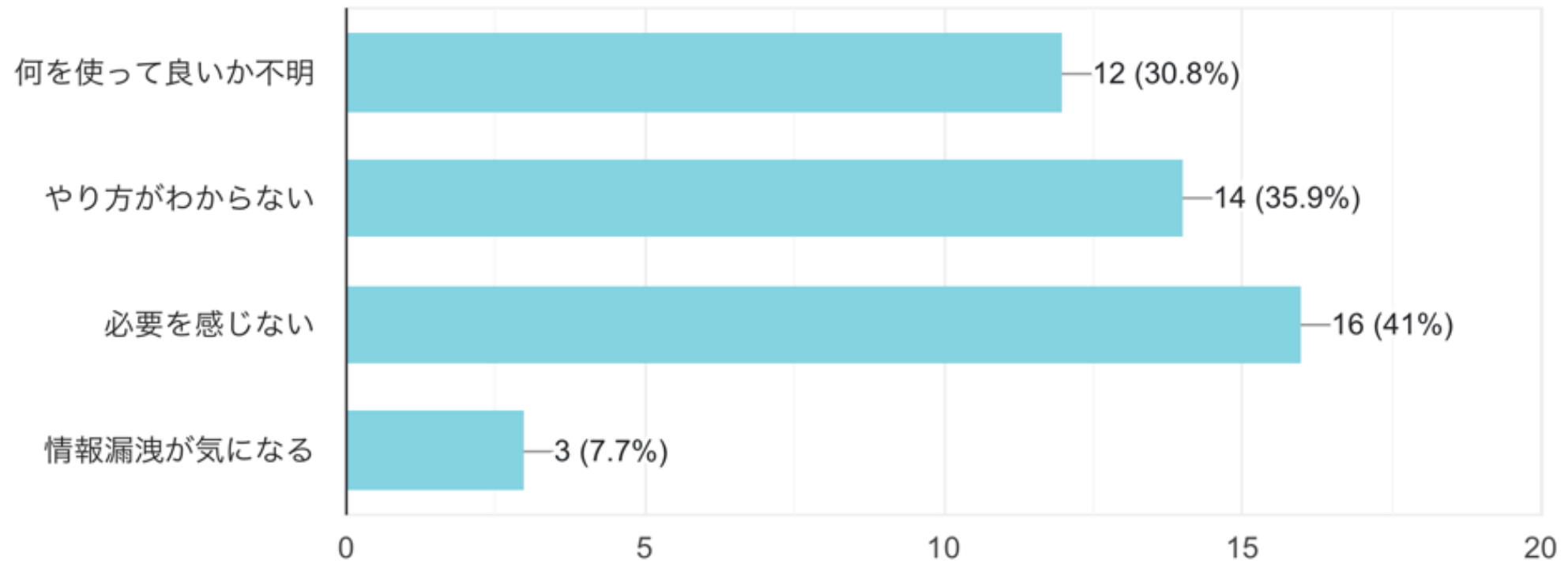
30件の回答



〔Q3〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

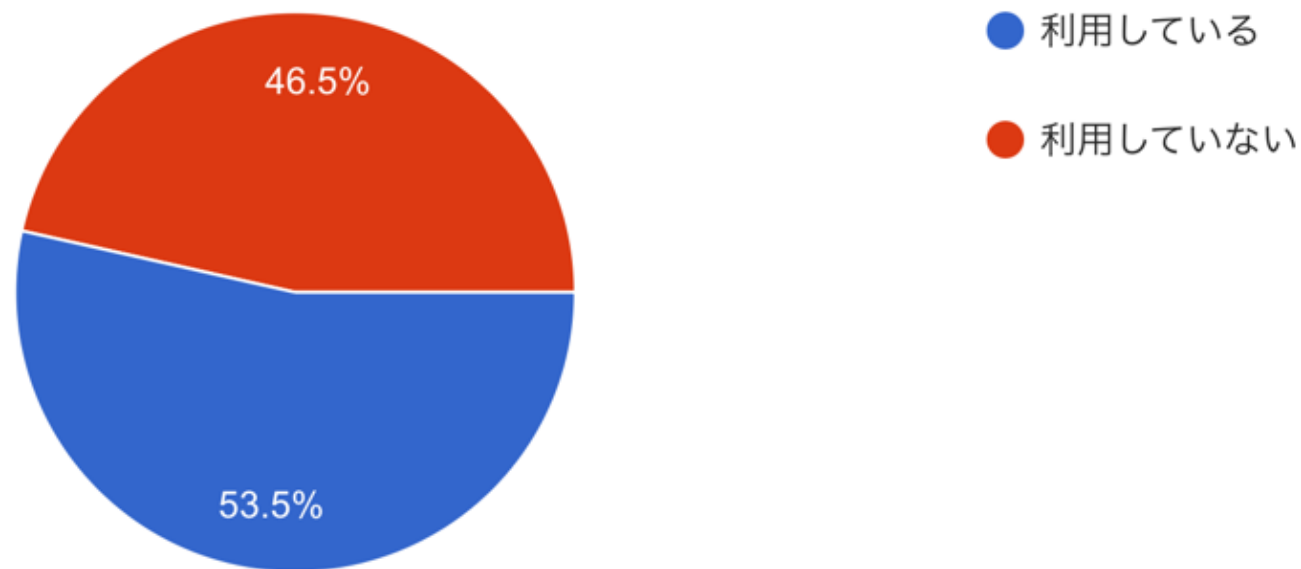
◆3.生成AIの利用状況（3-1-B）

39件の回答



〔Q4〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査

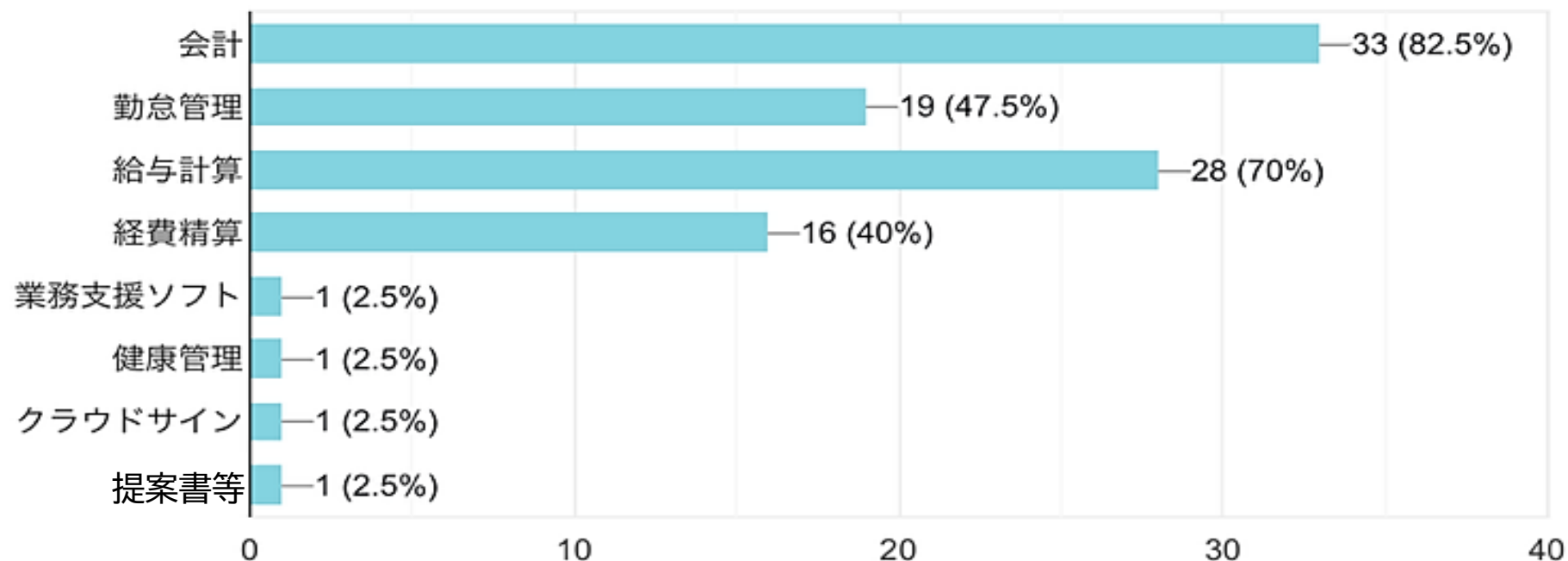
◆4.バックオフィスツールの利用状況 (4-1) バックオフィスシステム（ソフト）の利用状況
71件の回答



〔Q4〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆4.バックオフィスツールの利用状況（4-1-A）

40件の回答



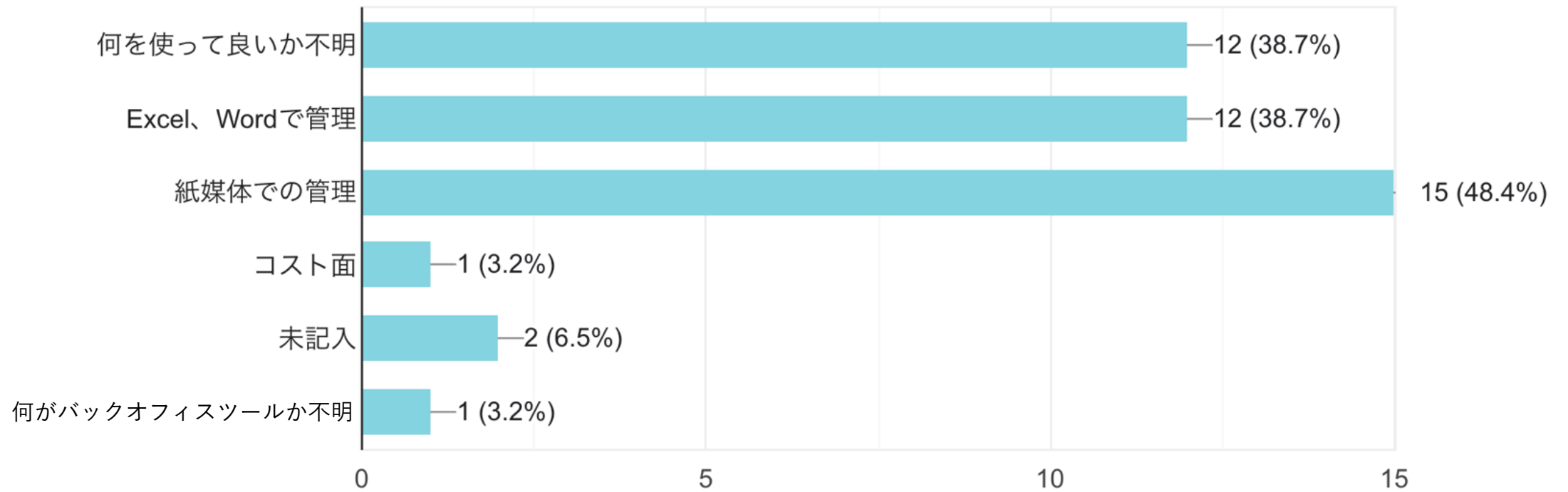
〈結果〉

バックオフィスシステムでは、「会計」（82.5%）と「給与計算」（70.0%）の導入率が高く、法令対応や事務効率化に直結する分野を中心に活用が進んでいる。「勤怠管理」（47.5%）や「経費精算」（40.0%）は半数前後にとどまっており、業務全体のデジタル化にはさらなる導入余地がある。今後は生産性向上や人手不足への対応を背景に、バックオフィス業務全般でのデジタルツール活用の拡大が期待される。

〔Q4〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆4.バックオフィスツールの利用状況（4-1-B）

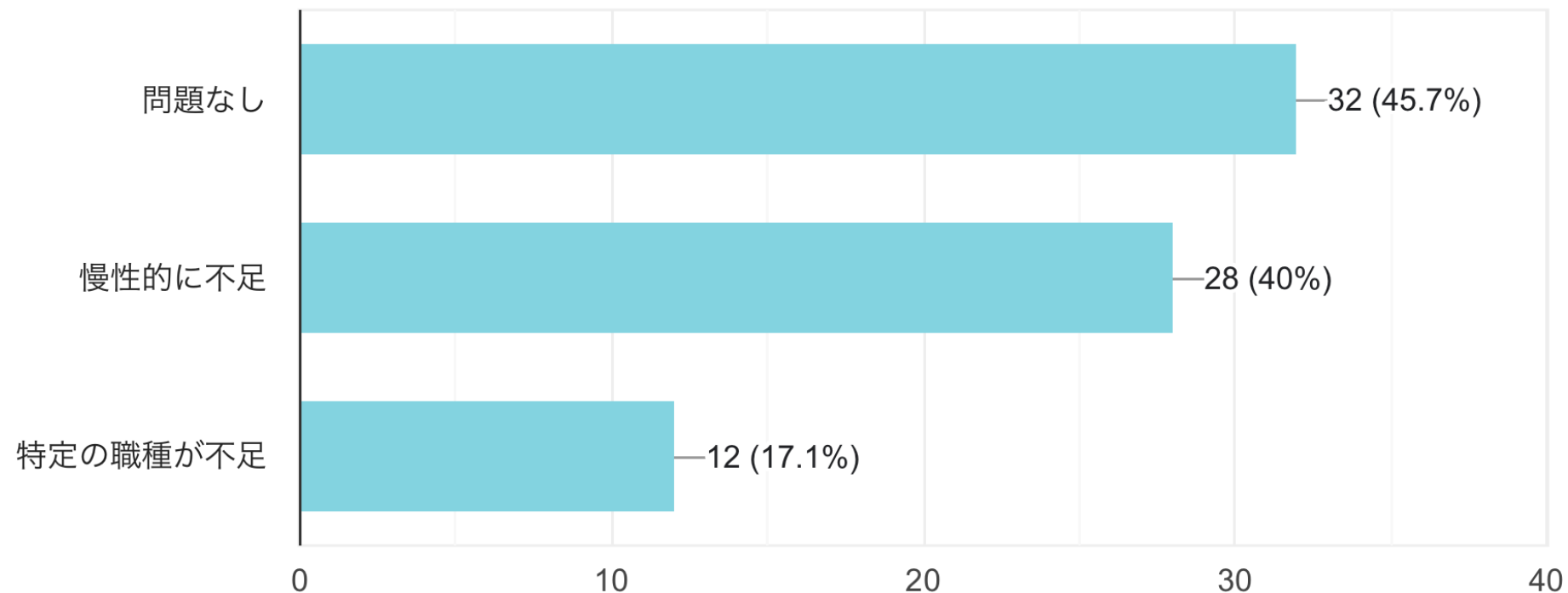
31件の回答



〔Q5〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆5.人材確保・雇用環境 (5-1) 現在の人手不足の状況

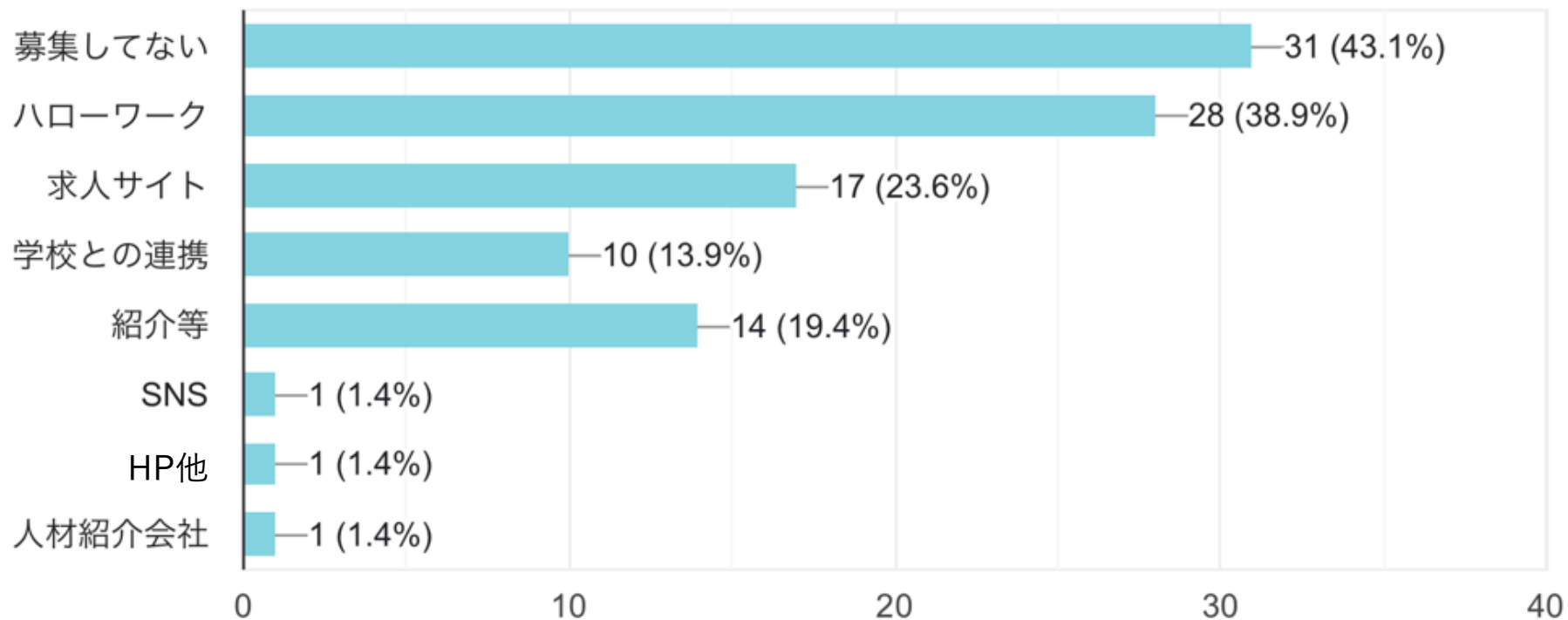
70件の回答



〔Q5〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆5.人材確保・雇用環境（5-2）採用における課題

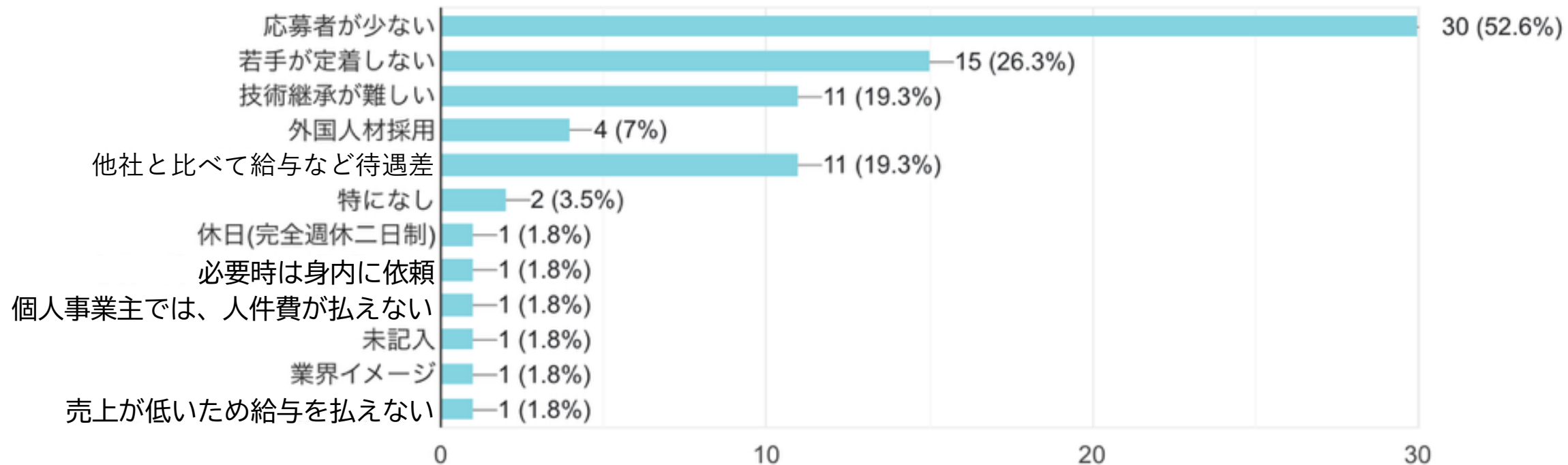
72件の回答



〔Q5〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆5.人材確保・雇用環境（5-3）採用における課題

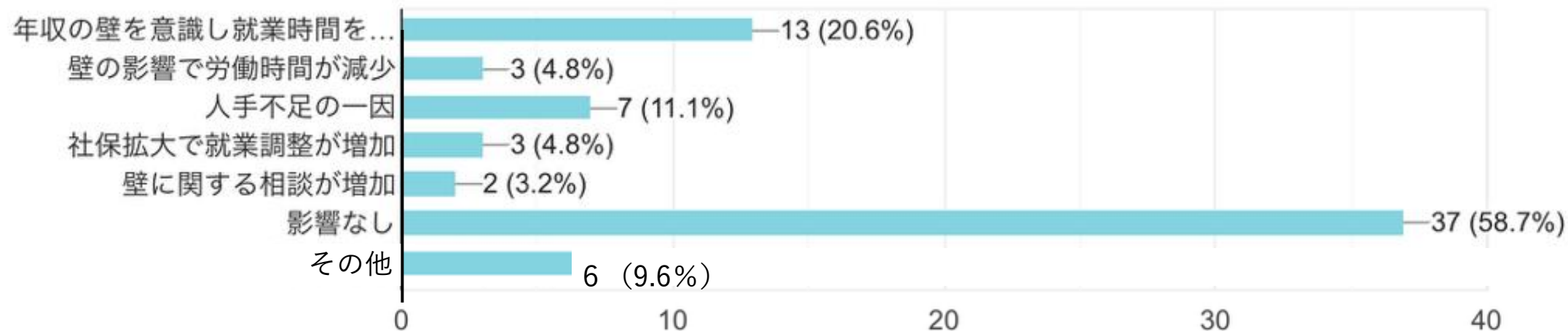
57件の回答



〔Q5〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆5.人材確保・雇用環境（5-4）賃金に関する状況と課題

63件の回答

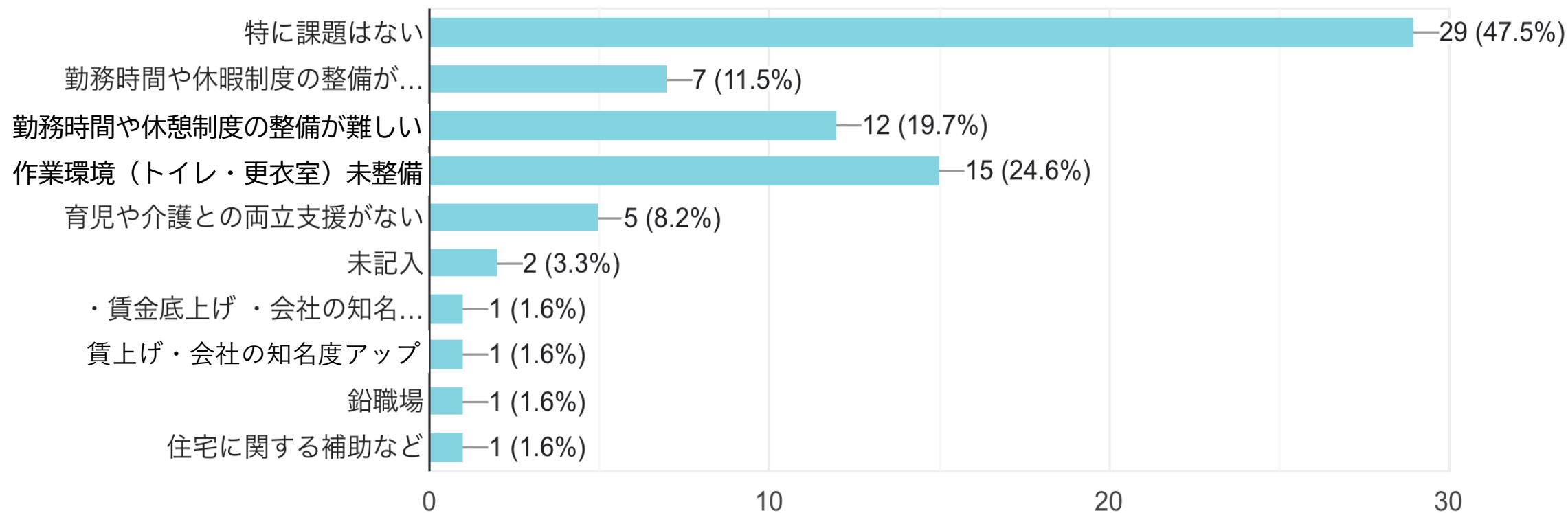


※その他： 初任給を見て決める傾向、物価上昇により雇用できない、未記入、不明等

〔Q6〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

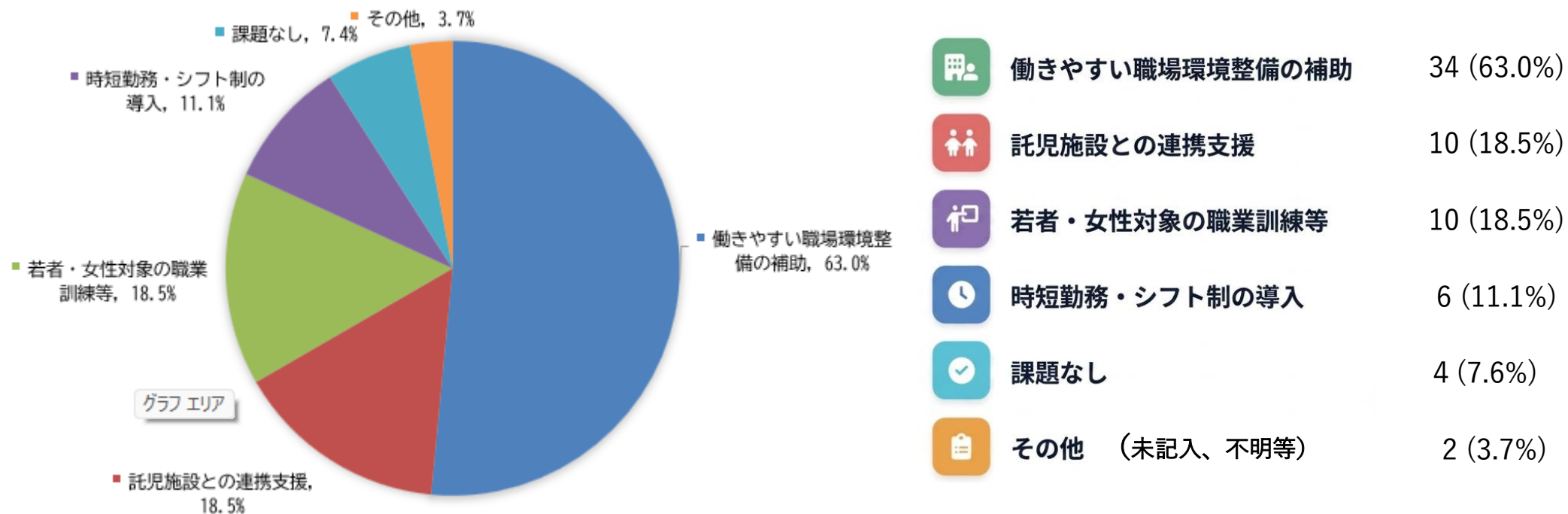
◆6.若者・女性が働きやすい環境づくりについて（6-1）若者・女性の雇用・定着における課題

61件の回答



〔Q6〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆6.若者・女性が働きやすい環境づくりについて（6-2）行政に期待する若者・女性の就労支援
54件の回答



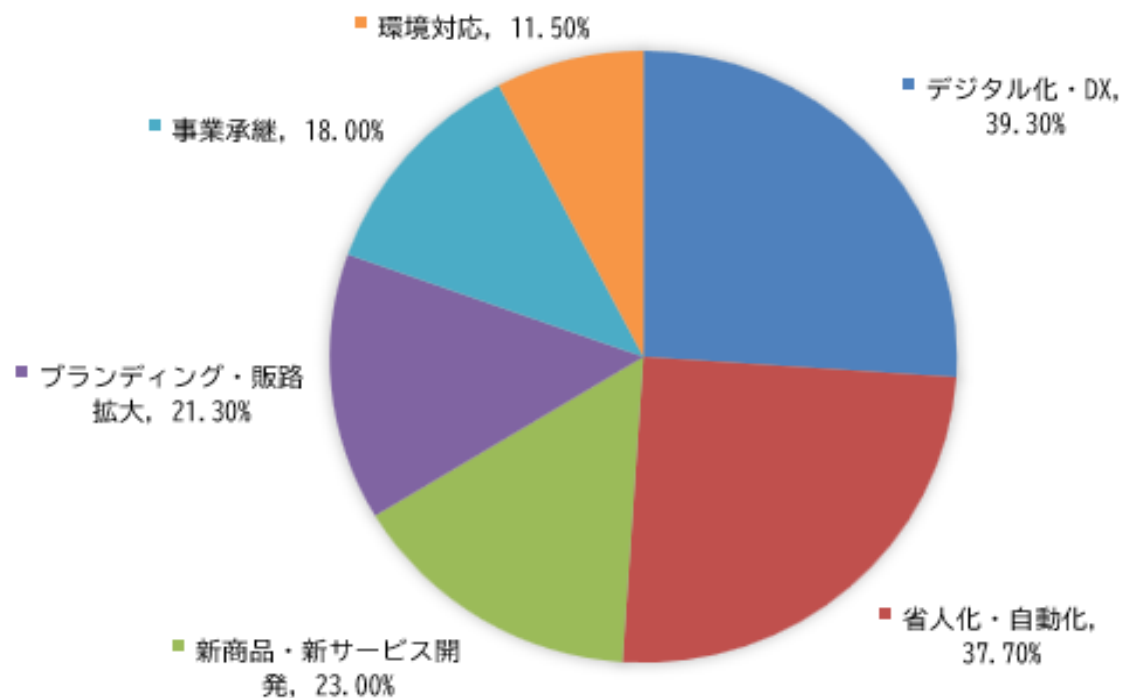
〈結果〉

企業においては、若者・女性が働きやすい環境整備への支援ニーズが特に高く、人材確保・定着に向けた課題意識がうかがえる。今後は、職場環境の改善を基盤として、育児支援や人材育成施策を組み合わせた総合的な支援が重要と考えられる。

〔Q7〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆7.今後の事業展開・支援ニーズ（7-1）今後注力したい自社の取り組みについて

61件の回答



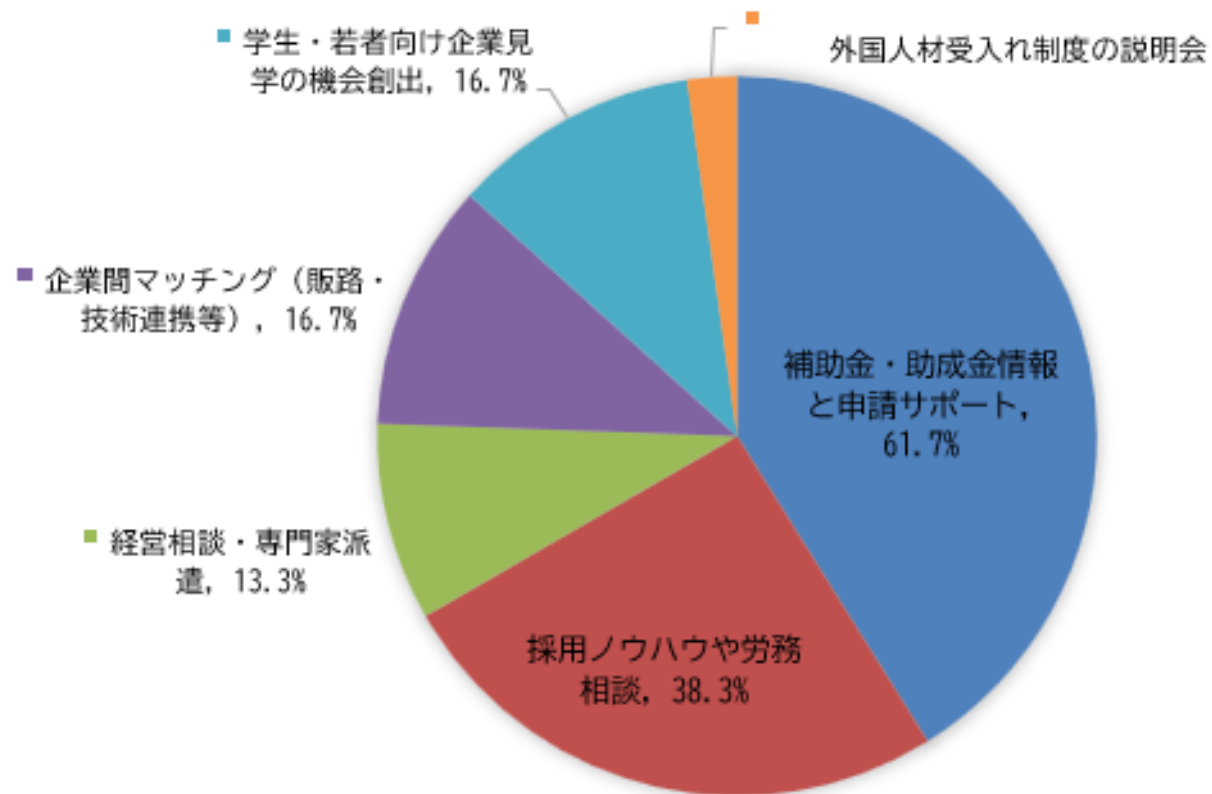
〈結果〉

- ・「デジタル化・DX」（39.3%）と「省人化・自動化」（37.7%）が上位を占めており、生産性向上や人手不足への対応を重視する傾向がみられる。
- ・「新商品・新サービス開発」（23.0%）や「ブランディング・販路拡大」（21.3%）への関心も高く、事業成長に向けた取り組みに意欲的な姿勢がうかがえる。
- ・「事業承継」（18.0%）や「環境対応」（11.5%）も一定の割合を占めており、中長期的な経営課題への対応が進められている。
- ・他と合わせて多くの企業が具体的な重点施策を持っており、経営基盤の強化と持続的な成長を目指していることが分かる。

〔Q7〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆7.今後の事業展開・支援ニーズ（7-2）必要と感じる支援

60件の回答



〈結果〉

- ・「補助金・助成金情報と申請サポート」（61.7%）が最も高く、資金面での支援ニーズの高さがうかがえる。
- ・「採用ノウハウや労務相談」（38.3%）が多く、人材確保・定着が重要な経営課題となっている。
- ・「企業間マッチング」や「学生・若者向け企業見学」への要望もみられ、販路拡大や将来の人材確保への関心がうかがえる。

〈総括〉

事業者は補助金・助成金活用に関する支援を最も求めており、人材確保や販路拡大に関する支援へのニーズも高い。経営基盤の強化に向けた総合的な支援が期待されている。

〔Q8〕令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆8. 竹原市または県・国に対して意見、要望等があればご記入をお願いします。

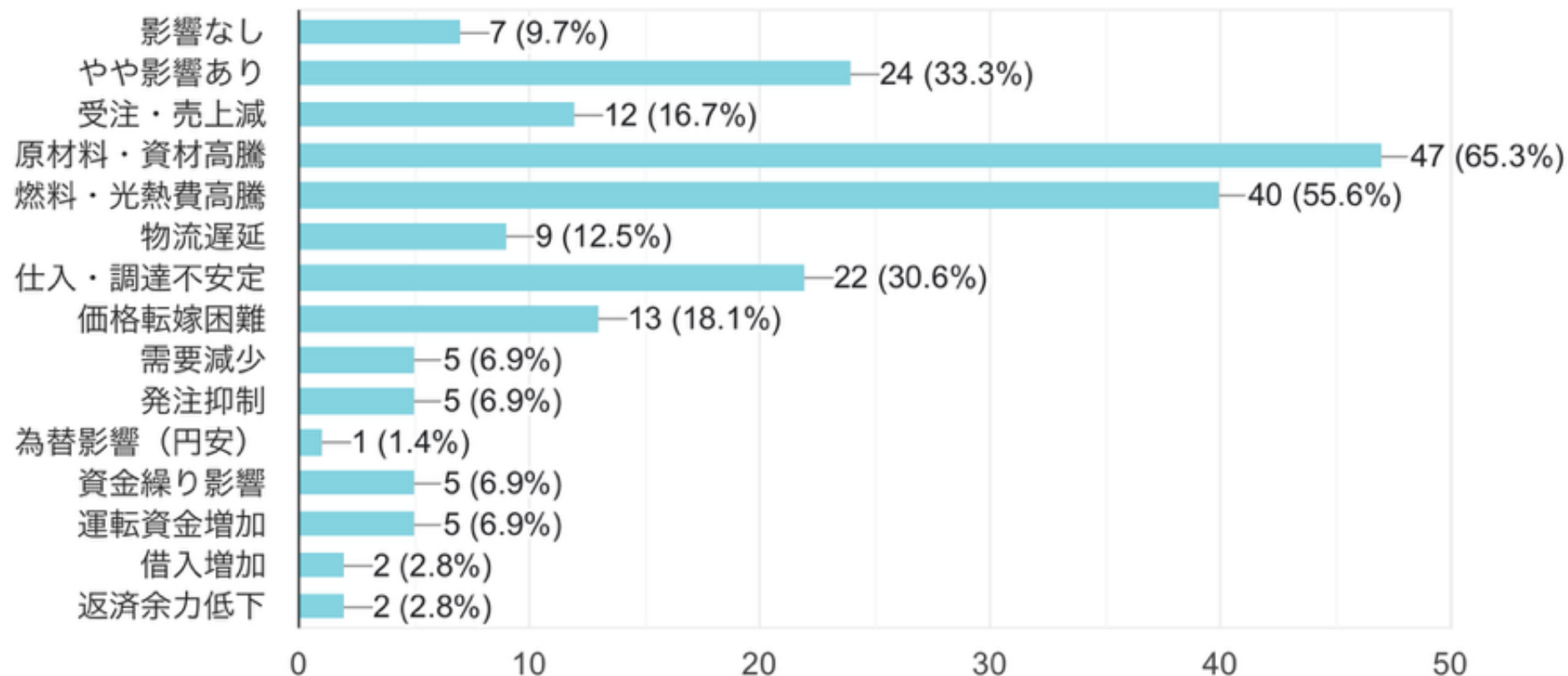
8件の回答

- ①実態に即した対応とその瞬発力
- ②小規模事業者がどれだけ厳しい状況か把握し予算を取りしっかりと補助金を出してほしい。
- ③農機具・資材を購入するだけで大赤字になる。省力化もできない。
- ④地域企業の競争力強化につながる設備投資への補助制度を市・県としても独自に設けてほしい。
- ⑤国はもっと中小零細企業を大事しないといけない。消費税を速やかになくせ。
都心や大手企業だけでなく、中小企業や地方にもっと目を向け手厚い支援をすべきだ！
- ⑥未来を見据えた設備投資に対する助成及び助成金（償却制度含み）
- ⑦零細企業の現状をもっと把握してほしい
- ⑧エネルギー価格、物価高騰支援

〔Q9〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆9.貴社の中東情勢に関する影響について (9-1) 現在の影響と具体的な内容

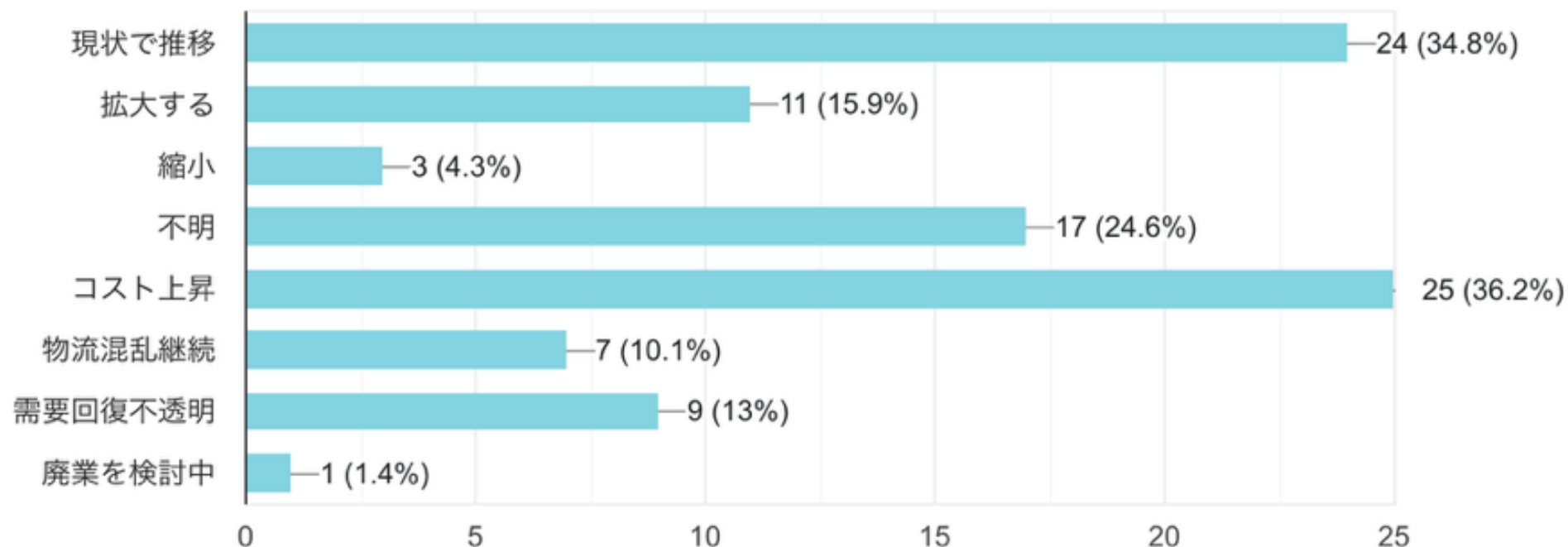
72件の回答



〔Q9〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆9.貴社の中東情勢に関する影響について (9-2) 今後の影響見通し

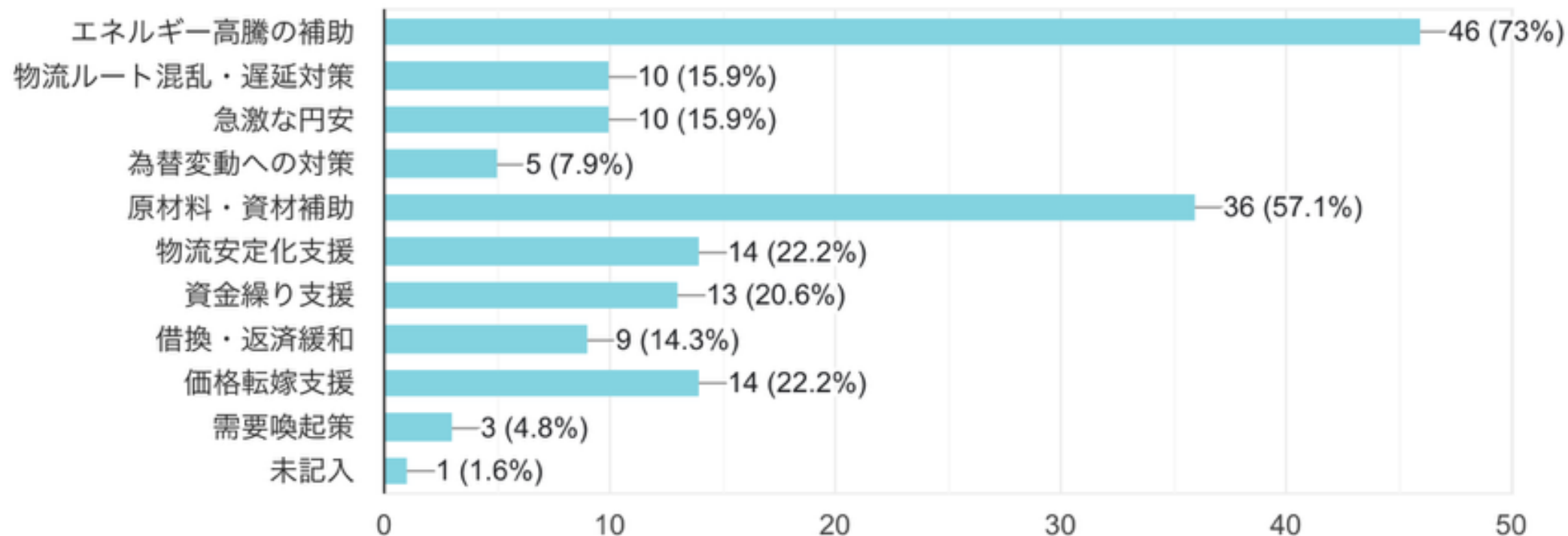
69件の回答



〔Q9〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆ 9. 貴社の中東情勢に関する影響について (9-3) 行政・国に求める支援

63 件の回答



〔Q10〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査

◆10. その他ご意見があればご記入をお願いします。

4 件の回答

- ・ 行政にはあまり期待できない
- ・ 政府や公務員は問題の表面の数字でしか見ていない。
実際の現場の苦労を実際にしっかりと見て対策や支援をしてもらいたい。
- ・ 現状のままだと国の根幹となるはずの一次産業の衰退は加速するばかり。今のような甘い見方をしていると日本は根幹から転覆する。
まあ、今の政府に何も期待しても無駄でしょう
- ・ 国の事より、自分の懐が大事なんでしょう。



〔Q10〕 令和8年度ものづくり部会アンケート調査



当部会のアンケート結果は以上になります。